

## 令和4年度 第1回宮代町介護保険事業運営協議会会議録

○日時：令和4年8月23日（火） 13：30～14：33

○場所：福祉交流館すてっぷ宮代 多目的室しいがし

○出席者：都田会長、松尾副会長、伊藤委員、三浦委員、島村委員、秋山委員、  
神田委員、渡辺委員、青木委員、伊達委員、斉藤委員、今西委員、伊東委員、  
岡村委員、金子委員

### ○会議次第

1 開 会

2 議 題

- (1) 地域密着型サービス事業所の指定について
- (2) 令和3年度宮代町地域包括支援センターもみの木の運営状況について
- (3) 令和4年度宮代町地域包括支援センターもみの木の事業計画について
- (4) 介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務の委託状況について
- (5) 介護予防・日常生活支援総合事業に係る指定状況について
- (6) 令和3年度認知症初期集中支援チームの活動状況について

3 その他

4 閉会

### ○議題

(1) 地域密着サービス型事業所の指定について

- ・資料1に基づき事務局及び事業所から説明
- ・質疑なし
- ・挙手全員により承認

(2) 令和3年度宮代町地域包括支援センターもみの木の運営状況について

- ・資料2に基づき事務局から説明
- ・質疑応答

(委員)

資料2ページの総合相談支援についてだが、3年度の相談件数が3千件を超えている。これはコロナ蔓延を理由とするものなのか、どのような理由か。また、相談件数が増えている中で、ケアマネジャーから相談件数が減っているのはなぜか。コロナ禍で困っている人が増えていると思うのだが、逆に減っているのはなぜか。

(事務局)

「介護保険介護サービスに関する相談」の相談件数が増加した主な理由は、2年度までは「その他の相談」に計上していたものを3年度は「介護保険介護サービスに関する相談」に計上したことによるものだが、その分を差し引いても介護保険に関する

相談件数は増加している。相談件数全体では3年度は3,688件で、2年度の4,078件と比べて10%ほど減少している。

(包括支援センター)

住民からの相談内容は多岐にわたっている。例えば、親が認知症になったことによって、どのように対処いけばいいか。また、ご自分の体力が低下してきたため、生活に不自由が生じてきているが、どうすればよいかなど様々である。

(委員)

介護に関する相談は包括と役場のどちらに行けばいいのかと聞かれることがあるが、包括と答えている。相談件数が減っているということは、相談が役場に分散されているということか。

(事務局)

介護に関する相談は、包括だけではなく、町でも受けているが、役場に寄せられる介護の相談件数が以前に比べて大きく増加したということはない。

(3) 令和4年度宮代町地域包括支援センターもみの木の事業計画について

- ・資料3に基づき事務局から説明
- ・質疑なし

(4) 介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務の委託状況について

- ・資料4に基づき事務局から説明
- ・質疑なし

(5) 介護予防・日常生活支援総合事業に係る指定状況について

- ・資料5に基づき事務局から説明
- ・質疑なし

(6) 令和3年度認知症初期集中支援チームの活動状況について

- ・資料2に基づき事務局から説明
- ・質疑なし

○その他

(委員)

介護保険の課題として、介護職が増えないということがある。介護を必要とする人が増えていく中で、介護職が足りるのかということが問題である。現場では、ヘルパーがいなくなっている。このことについて町はどのように考えているのか。介護のイメージアップはできないか。

(事務局)

介護に限らず人手が足りないことは大きな問題である。介護職は大変というイメージがある。例えば介護保険をテーマとしたイベントを行うなど、イメージアップ、関心を引き付けるようなイベントを展開していきたいと考えている。

(委員)

ヘルパーの養成について、行政が積極的ににかかわることはできないか。

(事務局)

認定ヘルパー養成講座を開催しているが、参加についても積極的に促していきたい。